

共同研究集会 「極値理論の工学への応用」

日程：2017年7月20日（木）13:00～17:20, 7月21日（金）10:00～16:30

場所：統計数理研究所 3F セミナー室5（〒190-8562 東京都立川市緑町10-3）

7月20日（木）

13:00 開会挨拶 研究代表者 北野 利一

13:05-13:55 仲井 圭二（株式会社エコー）
経年的な増減傾向を持つ年最大値資料を用いた極値統計解析に関する提案

13:55-14:45 尾関 暁史（日本イーライリリー）
Analysis of Extremes: Semiparametric Efficiency

14:45-15:00 休憩 ★注

15:00-15:50 田中 耕司（(株)建設技術研究所）
現実可能な最大級豪雨の想定と極値理論の応用

15:50-16:40 高橋 倫也（神戸大学 名誉教授）
閾値の選択法

16:40-17:00 小林 健一郎（神戸大学 都市安全研究センター）
（話題提供）ガーナの天候インデックス保険の検討

17:00-17:20 北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）
（話題提供）極値統計解析は、なぜ「難しい」のか？

18:30- 懇親会 （ジャルダン：立川市曙町1-3 1-1 カーロビル2F, 042-540-4430）

7月21日（金）

10:00-10:50 山地 秀幸（国土技術政策総合研究所）
外水及び内水の同時生起を考慮した氾濫計算

10:50-11:40 北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）
2変量パレート分布を用いた降雨の同時頻度解析

11:40-12:40 昼食休憩

12:40-13:30 田中 茂信（京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター）
流域平均雨量の極値の特性

13:30-14:30 佐藤 彰洋（京都大学大学院情報学研究所 数理工学専攻）
（招待講演）津波ハザード推定のための極値理論の応用と津波ハザードメッシュデータの利活用

14:30-14:45 休憩

14:45-15:35 西郷 達彦（山梨大学 医学工学総合研究部）
極値過程の拡張について

15:35-15:55 志村 隆彰（統計数理研究所）
（話題提供）EVA2017（Delft）報告

15:55- 研究会打ち合せ（次年度の企画案など） 進行：北野 利一
研究レポートの提出 志村 隆彰

★注：2日目の昼食の仕出し弁当の予約を前日の休憩に確認します。弁当ならびに懇親会費は実費を徴収します。
また、名札は各日、開始時にお渡しして、退室時に返却をおねがいします。